

# 六郷ペガサス

## 完封初

### 大田区少年軟式大会

第42回大田区少年軟式野球大会(大田区野球連盟主催、東京中日スポーツ)



緑地野球場で  
同回の多摩川  
援)は6日、  
東京新聞後

六郷ペガサスが池雪ジュニアストロングAを完封で下し、うれしい初優勝を果たした。両チームは7月に行われる第35回都知事杯学童大会に大田区代表として出場する。



優勝した六郷ペガサス(右)と安打完封の六郷ペガサス・吉田遼都君(大田区・多摩川緑地グラウンド)

### 吉田君無四球好投

昨年と同一カードとなった一戦。六郷ペガサスが池雪ジュニアストロングとの接戦を制し、リベンジを果たした。

2回、六郷は先頭の吉田遼都君が二塁打、進塁後に暴投でかえって先制した。3回には代田伊吹君、4回にも斉藤理来君の長打などで加点しリード。先発の右腕・吉田君



は力強いストリートで池雪打線を1安打に抑える力投を見せた。念願の初優勝にベンチ、応援席は大いに沸いた。以前はコントロールに苦しんでいたという吉田君だが、この日は無四球。一力まないように気をつけて、いい投球ができました。去年のリベンジができてうれしい」とニコリ。安田善昭監督も「エースとしての自覚も出てきた。今日は安心



準優勝の池雪ジュニアストロングA

### 都知事杯で優勝した準V池雪

池雪は攻撃でリズムを作れず、悔しい完封負け。川嶋毅監督は「六郷の吉田君は大田区で今、一番速い投手。自分たちのレベルが分かってよかったと思う。子供たちはここまでよく頑張った」と、淡々と話していた。主将の新城星斗君は「打てないなりに、もっと工夫をして攻撃したかった。負けて悔しい」と唇をかんだ。都知事杯では「もっと練習をして優勝したい」と、この悔しさをぶつけるつもりだ。

## 全国へ57チームが激突!



野球 中学軟式

第29回全日本少年軟式野球東京大会(都)

京中日スポーツ・東京新聞後援)の組み合わせ抽せん会が9日に行われ、対戦が別表のとおり決まった。前年新人戦優勝の鐘。優勝チームは8月にケ淵イーグルス(墨田)と、都内各地の予選を勝ち抜いた全

## 元気よく宣誓

田哲哉主将が「春の大会が始まり、早くも再び戦えることは最高です。これから1戦1戦正々堂々と戦います」と宣誓を行いました。各チームとも選手宣誓は6日から始まりました。各チームとも第35回都知事杯争奪東京学童軟式野球大会への出場を熱戦を繰り広げ

みんなのスポーツに掲載された写真を有料でお分けします。申し込みは東京新聞お客様センターまで(日祝休み) 電話03(6910)2517 FAX03(355800)7277

▽決勝  
池雪ジュニアストロングA  
0000000001-30  
0111000x  
六郷ペガサス  
(六)吉田一樹  
(池)石戸谷、田上今泉